

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成27年 1月28日更新

事務事業名		中小企業等活性化推進事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	政策部	課長名 井村 幸弘
	施策	12	商工業の振興			所属課	商工振興課	担当者名 齋藤 正武
	基本事業	36	生産・販売力の強化			所属班	商工振興班	(内線) 1271
予算科目	会計一般	款7	項1	目2	事業連番11436	法令根拠	合志市中小企業等振興基本条例	成果優先度評価結果: ① コスト削減優先度評価結果: ②
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 25年度で終了 <input type="checkbox"/> 25年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 22年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	中小企業等の経営基盤の強化及び持続的な発展を促進することにより、中小企業等の活性化を推進し、もって活力ある地域社会の実現を図るもの。具体的には、現行施策である「合志市中小企業人材育成費補助金」及び「合志市中小企業者店舗等近代化融資金利子補給事業」の内容の一層の充実、また新規に「新入社員合同研修会」・「大規模展示会出展支援事業補助金」を実施することで、市内中小企業の発展・活性化が促される。平成25年度より住宅リフォーム助成事業を実施し、地元中小企業の更なる活性化を図る。
【業務の流れ】	「合志市中小企業等活性化会議」において、合志市の中小企業等の実情に応じた支援策の調査・検討を行い、具体的な支援策の施策化に取り組む。上記拡充の内容に挙げた4つの施策の規則・要綱等を整理し、申請受付等の事務処理を行う。
【主な予算費目】	報酬、報償費、旅費、負担金補助及び交付金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	合志市商工会等関係団体からは、長引く世界的な経済不況の影響が、地元中小企業の経営環境にも影響を及ぼしており、個人消費や設備投資の減衰、売上げ減少等による資金繰り難など厳しい状況が続いているとの声が強くなってきている。また、平成23年5月に実施した「産業実態調査」の結果によると、後継者育成などの「人材育成支援」を行って欲しいとの意見が多かった。またやはり財政的に厳しい状況の中小企業が多く、「経済的援助」を望む声も多かった。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 25年度実績(25年度に行った主な活動)(DO)	26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
「合志市中小企業等活性化会議」で、議会等からも要望の強かった住宅リフォーム制度について平成25年度より事業を実施した。	「合志市中小企業等活性化会議」にて、市内中小企業を取り巻く現状を認識し、現行施策の進捗状況や事業効果等を検証し更なる市の活性化に向けて、より実効性のある施策を展開していく。一定の成果は得られているので、当面は住宅リフォーム事業を継続していく。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ア:活性化会議開催回数	→イ:住宅リフォーム事業費の増
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
市内中小企業等	→ア:現行の支援策件数 (単位) 件
→イ:	→イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
経営基盤の強化及び持続的な発展を促進する	→ア:支援策の利用件数 (単位) 件
→イ:	→イ:
*③成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠	
活力ある地域社会の実現を図るため	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	23年度 実績(決算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	27年度 予定	28年度 見込	29年度 見込	
①活動指標	ア	回	4	4	4	4	4	4	4	4	
	イ										
②対象指標	ア	件	2	4	5	5	5	5	5	5	
	イ										
③成果指標	ア	件	15	67	70	72	75	80	80	80	
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	227	1,070	7,715	6,990	7,479	10,000	1,872	1,500
	(A)事業費計	千円	227	1,070	7,715	6,990	7,479	10,000	1,872	1,500	
	(A)のうち指定経費	千円	141	114	178	130	178	178	178	178	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4	4	
	延べ業務時間	時間	820	720	720	400	720	720	720		
	(B)人件費計	千円	3,311	2,931	2,931	1,593	2,931	2,931	2,931		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	3,538	4,001	10,646	8,583	10,410	12,931	4,803	4,431	

事務事業名	中小企業等活性化推進事業	所属部	政策部	所属課	商工振興課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価の部（SEE）

\*原則は25年度の後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 目標については達成できた	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 中小企業等活性化会議にて現行施策の進捗状況や事業効果等を適宜把握し、より実効性のある施策を展開していく予定である。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 現行の中小企業支援策の評価を行いつつ、中小企業等活性化会議を活用し、合志市の実情に即した支援策を施策化し、中小企業の活性化を推進して行く。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 農業関係、子育て支援関係、高齢者雇用関係と各関係部署の施策と関連性があり、綿密に連携を図る必要がある。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の予算を計上しているため削減の余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最低限で計上しているため削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 中小企業が活性化されることにより、市全体の活性化へ繋がるため公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市、企業、市民で協同して推進する必要があり役割は適正である。

## 3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

本年度より新たに住宅リフォーム助成事業を実施し、商品券として助成することにより地元のリフォーム業者、商品券取扱店への一定の成果は得られた。

## 4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 【有効性改善】現行の中小企業支援策の評価を行いつつ、中小企業等活性化会議を活用し、合志市の実情に即した支援策を施策化し、中小企業の活性化を推進して行く。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上		○																		
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 商業店舗が極端に少ない本市において、商品券を通しての支援策は利用する市民にとっては不便である。商業店舗立地については、重点区域土地利用計画に基づく都市計画法の規制緩和を国県に働きかけていく。																					